

「解答・解答例等」

選抜区分	2026年度（選抜区分：学校推薦型選抜） 文学部 比較文化学科（科目名：小論文）
<p>問題 I</p> <p>問 1</p> <p>英語や英文学の学習は、読書の楽しみに基づいており、また種の絶滅を防ごうとする少年の物語の例が示すように、そうした読書は、自分の人生では出会うことができないような、様々な経験や考え方に触れることができ、それによって読み手のアイデンティティも形成されていく。そうしたことを踏まえると、様々な情報やインターネット経由の経験に囲まれている現代の生徒たちに、紙の本を丁寧に読むという重要な経験をさせるということにおいて、学校の役割は非常に重要なものとなるからである。（228文字）</p> <p>問 2</p> <p>8年生の生徒の33パーセントが基本的な読解力を持っていないという調査結果があり、しかもその数値は過去32年で最悪のものである。また楽しみのための読書を毎日行う生徒は2023年には14パーセントしかおらず、2012年と比べてもその数値は13ポイントも低下している。（130文字）</p> <p>問 3</p> <p>英語や英文学の教育において、読解や小論文の作成を中心にするをやめ、1冊の本を読み通す代わりに、関連する文献や画像を使ったり、生徒に体験学習を行わせたりするという方針は、アメリカの12年生の37パーセントしか十分な読解力を持っていない現代においては、適切でないと考えている。（138文字）</p> <p>問 4</p> <p>「出題の意図」を参照のこと。</p>	

問題Ⅱ

問 1

日本文化の根底には物事を縮小する原理が横たわっているとす。日本は歴史的にみて大陸から文化的な影響を受け、それを自らのものとするために独自の方法で加工してきた。その加工法には、込める、折り畳む、削り取る、詰める、構える、凝らせるの六通りがある。「削り取る」の例としては漢字の部首を取り去って仮名を生み出したことを、「詰める」の例としては食膳を移動可能状態に縮小した折詰弁当の考案を挙げる。六通りの加工法が組み合わせられると、日本の伝統文化の背後に横たわる原理が成立する。また、小さく縮ませることは、その事物に圧縮された強度を与える。例えば、「一寸法師」が鬼退治を成し遂げ、能における動作の簡略化は演劇的強度をもたらす。極小電化製品や「ポケモン」を生み出した背後には、このような文化的伝統が息づいている。(350字)

問 2

「出題の意図」を参照のこと。